

令和6年度第1回岡崎版図柄入りナンバープレート推進協議会

1 開催及び閉会に関する事項

令和7年1月22日（水）11時00分～12時00分

2 開催場所

岡崎市役所東庁舎6階東601号室

3 出席者氏名

(1) 出席者（6名）

松本	幸正	委員	（名城大学 理工学部教授）
岩月	幹雄	委員	（岡崎商工会議所 専務理事）
宮川	高彰	委員	（国土交通省中部運輸愛知運輸支局 首席運輸企画専門官）
小梁	亮	委員	（愛知県警察岡崎警察署 警部補）
山本	公德	委員	（岡崎市 副市長）
大竹	広行	委員	（幸田町 副町長）

(2) 欠席者（1名）

神取	勇	委員	（幸田町商工会 会長）
----	---	----	-------------

4 説明等のため出席した事務局職員の職氏名

・岡崎市

岡田	晃典	（総合政策部長）	木下	政樹	（地域創生課長）
竹内	雅晴	（主任主査）	安藤	星哉	（主事）

・幸田町

柴田	淳一	（企画政策課長）
----	----	----------

5 議題

(1) 現状報告について

資料1に基づき説明

＜以下、各委員の意見等＞

- 委員： 図柄入りナンバープレートへの付替えは車の買換え次期が多いと思うが、ディーラーへの周知活動は行っているか。自分が行くディーラーではあまりチラシ等を見ない。
- 事務局： 損保会社との協定もあるので、ディーラーへは損保会社を通じて周知に協力をしてもらうよう働きかけを行っている。なかなかチラシが目に見えるところにない問題については今一度損保会社を通じて働きかけを行っていく。
- 委員： 損保会社を通さずに直接ディーラーへ働きかけをしていくのはダメか。

事務局： 協定もあるのでなかなか直接は難しい。現在の協定先はトヨタ系のディーラーと繋がっているため、HONDA や日産等は直接ディーラーへ働きかけを今後していくことはできると思う。

委員： 車の買換えに合わせた周知ならば、中古車にも働きかけをするとよい。車の買い替え時に希望番号を変える人は多いと思うので、希望番号に変えるとともに図柄入りナンバープレートもどうですかと周知に協力してもらうのがよいのでは。

事務局： 軽自動車だとナンバーを変えることで黄色ナンバーではないように見えますよと図柄入りナンバープレートを紹介してもらうのは想像がつくが、普通車は紹介だけで終わっている可能性が高い。周知方法も含め働きかけをしていく。また、自動車学校にチラシを置くなど様々な場所に露出させることも検討していく。

委員： ディーラーにチラシを置いてもらうだけでなく、見積をお客さんに依頼された場合は、見積と一緒にチラシを配布してもらうとよい。

事務局： コストを考えながら、ディーラーに対して、周知協力依頼をすると共に周知方法についても検討していく。

委員： 走る広告塔という意味では、市内で走る車に着けるのも大事だが、市外により出ていく物流業界のトラックに取り付けてもらうように働きかけをしていくのはどうか。

事務局： 働きかけは少ししているが、より意識して働きかけをしていく。

委員： 普及率の数字だけを見ると心配になるが、同じ第3弾にて交付開始した団体を見比べると真ん中ぐらいであり、今のところは順調そうに見受けられる。事務局としてはどう考えている。

事務局： 今のところ順調とは考えている。可愛いデザインの図柄入りナンバープレートが多い中で、比較的にかっこいいデザインになっているため、男性でもつけやすいのが普及率に繋がっている可能性がある。今後はナンバー内の岡崎の文字がなくても周りから見ても、岡崎版図柄入りナンバープレートと分かるような PR をしていきたいと考えている。

委員： 幸田町の反応はどうか。

委員： 町内ではまだつけている車は少ない。公用車には更新のタイミングでナンバープレートを図柄入りナンバープレートにして周知を図っている。

委員： エコたんバスにも是非取付けを検討してください。

(2) 寄付金活用事業について

資料2に基づき説明

<以下、各委員の意見等>

委員： 寄付金の積み上げ予測はどのように積算しているか。

事務局： 令和5年度の寄付金はスタートダッシュの分も加味しているので、落ち着いてきた令和6年度の実績をもとに、毎年継続して令和6年度並みには取付台数があることを

加味して予測をしている。

委員： 取付台数については寄付有り台数が減少してく可能性のほうが高いため、この積算よりも少なくなる可能性があるという認識でよいか。

事務局： その認識でよい。

委員： 令和7年度に仮に40万円程度の事業を行った後、もう一度40万円程度の事業を行うとすると、令和9年度になる可能性が高い。反射材などの配布は毎年継続して行うと意味があると思っているが、その点はどう考えているか。

事務局： もともと毎年公安協会の方で、反射材を配布している。どちらかという寄付金を財源更生として活用してもらうようなイメージになる。

委員： 事務局案は概ね賛成である。幸田町では毎年、ランドセルに被せるタイプの反射材を配布している。席上にあるキーホルダー型のような反射材であればよいが、別団体が配布する物と重複しないようには注意して欲しい。

事務局： 重複しないように注意していく。

委員： 車関係及び輸送関係の事業者働きかけをする際に、寄付金が交通安全に資する事業に使われていることを説明するとより協力をしてくれると思う。図柄入りナンバープレートのデザインだけを見ると岡崎とすぐに分からない反射材になってしまう可能性が高いので、デザインのストーリーを説明するものを啓発品に記載できるとよい。また、新1年生だけでなく、様々な世代に配るとより普及効果が生まれると考える。

事務局： 担当のフラッシュだが、啓発品を作成していただく際の条件として、なるべく多くの場所で配布をするために、もともと作成する予定であった反射材と寄付金で作成する反射材を同一デザインにしてもらう。寄付金で作成したものは新1年生へ、それ以外の作成したものは、イベント等で配布してもらうとより普及効果が生まれる可能性がある。もちろん、作成時にデザインの説明はつけるようにする。こういったことを検討していきたい。また、「宝くじのお金により作成されました」と紹介される商品があるように、「図柄入りナンバープレート寄付金により作成されました」という紹介も効果があると考えている。

委員： すごく良い取組みだと思う。企業がもともと作成する予定であったものは、イベント等で無料配布もいいが、有料で販売し、5つの図柄全て集めると何か特典があるといった商売としての取組も面白いと思う。

委員： 警察としては、今回の反射材を作成するといった事務局案はどうか。

委員： イベント等でも配布して周知を高められるのであれば、反射材作成はいいと思う。また寄付金が溜まれば、他のイベントや新聞にも掲載するなどの周知方法もできると考えた。また、個人的にはパトカーは交通安全のシンボルなので、予算等で厳しいかもしれないが、パトカーにも図柄入りナンバープレートを取付けたいなと考えた。

事務局： ぜひ、パトカーへの取付けもお願いいたします。

委員： 兜は身を守るという意味で交通安全と意味的にもつながっているから兜のデザイン

の反射材はすごくいいと思う。

委員：交通安全という意味では、神社等で交通安全守はたくさんあるので、商売にも使ってもらえる可能性が高いのでは。

事務局：岡崎市も幸田町も岡崎家康を祀っている神社はたくさんあるので、前向きに考えていきたい。

委員：令和7年度事業として、事務局案である反射材を作成する事業を実施するということをご了承いただいたこととしてよいか。

委員：異議なし

(3) その他

事務局より次年度以降の会議について、国から寄付金通知がある6月又は7月に開催していくことを説明。

— 会 議 終 了 —